

3類型	鈹工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-037
地域資源名	尾州の毛織物	認定日	平成20年3月26日
地域	一宮市、稲沢市、津島市、愛西市、弥富市、蟹江町、七宝町、江南市、岩倉市、名古屋	所管省庁	経済産業省

事業名：食品工場から出る加工済食品の色素で染色する生活雑貨商品およびテキスタイルの製造・販売事業

会社名：艶金興業株式会社

所在地：一宮市小信中島字南九反11-1

連絡先：TEL：0586-62-5211

H P：http://www.tsuyakin.co.jp/

FAX：0586-62-3272

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、設立以来、染色整理を事業として成長してきた。
- ・蓄積された染色のノウハウを活用し、柿、大豆、小豆、茶殻、野菜、梅、栗など、10種類の加工済食品から色素を抽出して染色できる技術を開発。
- ・食品加工会社の加工工程で排出される加工済食品を利用して、それらから色素を抽出し、各種繊維素材への染色を行い、生活雑貨商品・テキスタイルの製造・販売を目指す。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・こだわりの素材に加工済食品の染色を付加した製品は、エコロジー、ロハス、安心・安全を追求する消費者にとって、大きな訴求力を有する。
- ・排水処理においては、色素がほとんど繊維に吸着するため、排水の着色度合いも少なく、排水処理の環境負荷が大幅に低減。

◆市場性

- ・環境になるべく負担をかけず、丁寧な暮らしをしたいと思っている「日本のスローライフ」を好む層を中心とした展開が期待できる。

◆販路

- ・これまでに出品した展示会にて当事業に関心を示した企業に加え、テーブルウェアやリビングウェアを扱う著名ブランドや小売店等に対して販路開拓を図っていく。



【カラーバリエーション】



【栗菓子の銘店 中津川市の“すや”の暖簾】

地域資源における関係事業者との連携

- ・紡績、織り、縫製、補修など産地事業者との協業を行うとともに、商工会議所、自治体等との地域活性化にも取り組んでいる。

3類型	農林水産物	通巻番号	4-19-038
地域資源名	三河材	認定日	平成20年 3月26日
地域	岡崎市、豊田市、安城市、高浜市、 碧南市、西尾市、吉良町	所管省庁	農林水産省・国土交通省・経済産業省

事業名：自然素材と短工期にこだわった革新的家づくり工法による三河材の販路拡大事業

会社名：株式会社明城

連絡先 TEL:0566-92-0233
FAX:0566-92-0160

所在地：愛知県安城市城ヶ入町団戸173-16

H P : <http://www.meijyou.co.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・大手ハウスメーカーのプレハブ工法住宅が席卷している住宅業界にあって、独自開発のパネル工法、オブリーク工法等を駆使して、住宅の主要部分を構成する床、壁、天井等を自社工場内で事前製造することで、高強度、短納期、低価格、かつ人体にも環境にも優しい革新的な木造住宅工法を確立した。
- ・地元三河材の事業者と木材調達だけでなく一部部材の加工工程も連携することで、物流コストと加工コストを低減。



事前作製した部材の備蓄

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・特許を取得したパネル工法や耐震工法のオブリーク工法等の独自開発技術を駆使して、使用部材の多くを自社工場にて事前製造することで、大手ハウスメーカーのプレハブ住宅に比べても高品質、高強度、短工期、低価格な木造住宅を実現。



パネル工法施工例

◆市場性

- ・本事業の三河材住宅が実現した居住者の健康への配慮と耐震性に優れ、かつ長寿命で比較的low価格な木造住宅に対する市場ニーズは非常に大きい。

◆販路

- ・三河地域とその近隣地域の団塊世代及びそのジュニア世代のうち、身体に優しく、高強度、耐久性に富み、低価格な木造住宅を望む者を主たる顧客層。
- ・インターネットをはじめとした各種媒体での広告宣伝や展示会を積極的に開催。



オブリーク工法

地域資源における関係事業者との連携

- ・社長は、NPO法人「三河自然素材家作り研究会」の設立者で理事長。
- ・三河材産地である額田町森林組合・木材製材業組合との連携により三河材調達ルートを確立。



家屋機能比較実験棟

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	4-19-039
地域資源名	東濃桧・蛭川みかげ石	認定日	平成20年3月26日
地域	岐阜市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、本巣市、郡上市、下呂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町、中津川市、瑞浪市、恵那市	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名: 蛭川みかげ石と東濃桧の組み合わせによるホルミシス効果等が期待できる岩盤浴器の製造、販売

会社名: 株式会社田口石材

所在地: 岐阜県中津川市蛭川4895-2

連絡先: TEL: 0573-45-2179

H P: <http://www.mitsukaru.net/taguchisekizai/>

FAX: 0573-45-2686

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、設立以来、石材の採掘加工を行い、鳥居等社寺関係石造物、建築建設資材等を製造・施工・販売。
- ・本事業では、「蛭川みかげ石」の中からラジウム含有量が一般的な花崗岩に比して2～3倍の部位を選別して石盤にし、外枠に「東濃桧」を活用した。岩盤浴器に求められる遠赤外線効果はもとより、近隣地域に多く存在するラジウム温泉の効能とされるホルミシス効果も期待され、加えて「東濃桧」による抗菌効果も兼ね備えた岩盤浴器(商品名「ぼお〜とひと息足岩盤浴」)を開発。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・類似商品に見られる温熱効果だけでなく、含有するラジウム(ラドン)の崩壊から発するアルファ線の適度な刺激(ホルミシス効果)が期待できる。
- ・抗菌効果を有する東濃桧や省電力ヒーターを活用するなど、地域、環境、安全性に拘った製品

◆市場性

- ・高齢化の進展と健康指向の高まりにより健康リラクゼーション市場が拡大。
- ・具体的なターゲットとしては、高齢者、冷え性に悩む女性、旅館、福祉施設など

◆販路

- ・石材関連のネットワークの活用、ネットショッピング及び健康機器フェア等の展示会への出展等により販路開拓を行う。

地域資源における関係事業者との連携

- ・中津川北商工会における小規模事業者新事業全国展開支援事業により当商品を開発、引き続き地域の関係事業者と連携して事業を推進。



【蛭川みかげ石】



【足岩盤浴(平R型 柿渋)】



【足岩盤浴(平R型 炭)】



【足岩盤浴(座椅子 柿渋)】

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-040
地域資源名	飛驒の木製家具	認定日	平成20年 3月26日
地域	高山市、飛驒市	所管省庁	経済産業省

事業名:「飛驒の匠」の技の利活用で実現した軽量・高強度木製家具『N(en)シリーズ』の製造販売

会社名:日進木工株式会社

所在地:岐阜県高山市桐生町7-78

連絡先:TEL:0577-34-1122

H P: <http://www.nissin-mokkou.co.jp/>

FAX:0577-34-7311

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社に蓄積されてきた「木材の選定と適材適所」「木材の乾燥技術」「曲げ木技術」「角ホゾを基準とした接合技術」等の木材加工技術に、継承が途絶えつつある飛驒匠の技術“大工仕事”を活用し、従来、機械加工していた作業の一部を手作業に戻し、細部までその粋を凝らした家具づくりに着手。
- ・その結果、従来の同社製品と比べても、高い機能美を兼ね備え、非常に軽くて丈夫で、耐久性にも優れているプレステージ木製モダン家具『N(en)シリーズ』を開発。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・『N(en)シリーズ』は、飛驒家具の特徴である「木材の選定と適材適所」「木材の乾燥技術」「曲げ木技術」「角ホゾを基準とした接合技術」の4点の技術を徹底的に追求し、これらの技術を総合的に組み合わせ、他社にない軽量かつ堅牢で機能美に溢れた画期的な木製家具。

◆市場性

- ・こだわりぬいて造った家具のため高額商品であり富裕層が大きな顧客となるが、家具分野では以前より自分のライフスタイルやこだわりがあるものなら高価なものでも購入するという消費行動が現れ始めており、本商品に対して年齢層を問わず30代あたりからも需要が見込める。さらに、軽量化という機能面でのニーズが見込める高齢者層・女性層なども顧客として捉えている。

◆販路

- ・主たる顧客を45歳以上の都市生活者とし、“軽くて丈夫”な家具であることを前面に押し出し、生活提案型の販売戦略を実施。東京に直営店を設けるとともに、ターゲット層が一致するニュースタイルショップと呼ばれる店舗やハウスメーカー・建築設計事務所への提案営業を全国規模で推進。

地域資源における関係事業者との連携

従来より県内地場産業との異業種交流活動等と、それを支援する岐阜県・高山市・高山商工会議所等の幅広い地域の関係者との連携のもとで商品化、販路開拓(海外も含む)等を図ってきた。今後も、関係者との協力・連携関係の強化を図りながら地域の活性化に努めていく計画。



『N(en)シリーズ』

3類型	鉱工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-041
地域資源名	みえ尾鷲海洋深層水	認定日	平成20年 3月26日
地域	尾鷲市	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名：「みえ尾鷲海洋深層水」を活用したOkcalスポーツドリンクの製造・販売

会社名：尾鷲名水株式会社

所在地：三重県尾鷲市名柄町字松場11

連絡先：TEL：0597-28-8350

H P：http://www.owasemeisui.com

FAX：0597-28-8352

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は18年2月設立の海洋深層水飲料・ミネラルウォーター・塩・濃縮ミネラルを製造する尾鷲海洋深層水活用型工業団地の誘致企業。
- ・みえ尾鷲海洋深層水を活用したOkcalのスポーツドリンクを初めて製造。

【(仮)みえ尾鷲海洋深層水
Okcalスポーツドリンク】



【みえ尾鷲海洋深層水ブランドマーク】



みえ尾鷲海洋深層水
(商標登録出願中)

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・カロリーは、限りなくゼロ(果糖ブドウ糖液糖未使用)であり、競合他社は通常100mlあたり17~27キロカロリー。
- ・海洋深層水由来の天然ミネラルを主成分としているため、特に筋肉の働きを助けるマグネシウムが多く含まれている。
- ・ペットボトルを自社製造するとともに、原料仕入れから製品販売までをグループ内で一貫して手掛けているため、製造コスト、販売コストが低い。

◆市場性

- ・スポーツドリンクは超成熟市場ではあるが、近年は「水分補給」から一歩踏み出したアイテムが台頭している。
- ・他社製品と差別化できる明確な個性を持った商品(Okcal, 海洋深層水天然ミネラル、低価格)とすることで市場開拓。

◆販路

- ・既存の販売ルート(スーパー、ドラッグストア)あり。
- ・コンビニエンスストアなど新たな販路を開拓や、海外の展示会への出展により市場ニーズを発掘。

地域資源における関係事業者との連携

- ・尾鷲市にとって約40年ぶりの県外からの誘致企業であり、地元の関心も高く、同市が運営する海洋深層水陸上取水施設より海洋深層水の安定的な供給が受けられる。
- ・地元の商工会議所等が開催する展示会に積極的に参加。

3類型	鈹工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-042
地域資源名	伊勢志摩の郷土寿司	認定日	平成20年 3月26日
地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名：志摩地方の郷土料理「てこね寿司」が家庭で簡単に味わえる『てこね寿司の素』の製造販売

会社名：有限会社サンエイ

所在地：三重県志摩市志摩町和具679-5

連絡先：TEL：0599-85-0370

H P：http://www.tekonesushi.com

FAX：0599-85-4755

事業概要(新たな活用の視点)

- ・漁師の賄い料理から始まった志摩地方の郷土料理である“てこね寿司”を家庭で簡単に味わえるよう、当地域で初めて調理セットとして開発。
- ・関東地域など地域外の人々にも受け入れられるよう、従来の甘口合わせ酢に加え、さっぱり味の合わせ酢を開発、2種類の酢を選べるようにした。



【てこね寿司の素】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・てこね寿司はカツオが主流であるが、びんトロマグロ、タイ等のバリエーションを用意し、他社と差別化している。
- ・全解凍した魚をスライスし、滲み出したドリップ(解凍液)を丁寧に取り除き、真空パックを施すことで、冷凍保存で90日の賞味期限を実現。

◆市場性

- ・“ご当地グルメ”や“お取り寄せグルメ”といった時代のニーズにマッチし、平成16年に雑誌『BRUTUS』にて、『てこね寿司の素』が「お取り寄せ寿司部門」の第一位を獲得。
- ・平成19年の農林水産省『農山漁村の郷土料理百選』において、“てこね寿司”は“伊勢うどん”とともに、三重県の代表的な郷土料理として選出されている。

◆販路

- ・インターネット通販に加え、ゆうパックやお中元などのカタログギフト市場を想定。



【てこね寿司】



【びんトロ・かつおセット】

地域資源における関係事業者との連携

- ・創業以来、志摩商工会主催による友好都市の町民祭に毎年参加し、てこね寿司を通じて地域PRに努めている。
- ・NPO法人「志摩ネットサポート」に参加し、地域の環境美化・まちづくりに取り組んでいる。

3類型	農林水産物	通巻番号	4-19-043
地域資源名	蓮台寺柿	認定日	平成20年 3月26日
地域	伊勢市、鳥羽市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 蓮台寺柿葉を活用した地元銘菓『シェルレーヌ』の新商品(アソート品含む)の製造販売

会社名: 株式会社 ブランカ

所在地: 三重県鳥羽市鳥羽3丁目15-3

連絡先: TEL: 0599-25-5999

H P: <http://www.blanca.co.jp/>

FAX: 0599-25-2757

事業概要(新たな活用の視点)

- ・同社は、全国菓子大博覧会で大賞を受賞した真珠貝の粉末を練り込んだ地元銘菓「シェルレーヌ」を製造・販売
- ・蓮台寺柿は伊勢市が天然記念物に指定している地域固有品種であるが、果実だけでは収入が限られているため、農家の女性グループ「柿の木クラブ」は三重県科学技術振興センター農業研究部の支援により、ポリフェノール的一种である“アストラガリン”と呼ばれる機能性成分(血圧上昇抑制や抗アレルギー作用を持つ)を有する柿葉粉末の商品化を模索していた。
- ・本事業は、同社が「柿の木クラブ」からの柿の葉の活用の申し出を受け、「シェルレーヌ」のラインナップの充実を図るために、農商工連携により着手。

【『シェルレーヌ』】



【蓮台寺柿葉の粉末】



【柿の木クラブ】



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・鳥羽の代表的なお土産”としてのシェルレーヌが持つブランド力に加え、蓮台寺柿が含有する“アストラガリン”の機能性と苦みのある味が、他の焼き菓子との差別化要因。

◆市場性

- ・全国各地の地元特産物(地域資源)を使った創作スイーツ(お菓子)がマスコミで取り上げるなど、ニーズが高まっている。
- ・観光地においては、地域の特長ある土産が求められている。

◆販路

- ・直営店や既存取引先量販店でのPR強化による需要拡大、「柿の木クラブ」との連携によるJAや旅館・観光施設等への新規販路開拓を目指す。

地域資源における関係事業者との連携

- ・鳥羽商工会議所「地域特産品等開発推進事業(むらおこし事業)」の専門委員会副委員長、地域の農業者との連携、県科学技術振興センター農業研究部と「柿の木クラブ」を通じて連携。

3類型	鈹工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-044
地域資源名	ニット製品	認定日	平成20年 3月26日
地域	高岡市、射水市、南砺市、小矢部市	所管省庁	経済産業省

事業名:「ナノ加工技術(防汚、撥水、撥油)を施したアクリル混ニット商品」の製造・販売

会社名:株式会社エヌエス・ブレン

所在地:富山県射水市串田1286

連絡先:TEL:0766-53-1210

HP:<http://www.nsbrain.com/>

FAX:0766-53-1456

事業概要(新たな活用の視点)

- ・ニット生産の中国等への海外移転が進む中、世界で初めてのアクリル混ニットへのナノ加工技術(防汚、撥水、撥油)により、付加価値の高い製品を製造、販路拡大を図る。
- ・高熱ナノ加工処理が可能な天然素材等に比べ、低温処理が要求されるアクリル混ニットへのナノ加工を、当社独自の最終熱処理機の開発により実現。
- ・この技術で、当社が極めて高い市場占有率を有する14ゲージ両面編みニット製品を更に機能強化し、需要拡大を目指す。



【ナノ加工(防汚、撥水、撥油)のニット製品】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・高級品ではなく、日常着として需要の高いアクリル製品へのナノ加工(防汚、撥水、撥油)だからこそ、従来品にない競争優位性がある。
- ・両面編みのセーター等のニット国内生産量は年間50万枚～60万枚といわれている中で、当社は、その技術力から現在40万枚と極めて高いシェアを有している。

◆市場性

- ・ゴム地と違いシワになり難く、軽くソフト感のある両面編みのニット製品に、汚れにくいナノ加工を加えた本製品は、ファッション性だけでなく機能性を求める消費者の衣料ニーズに合致したもので、市場性は高い。

◆販路

- ・既存の大手百貨店、専門店、メンズ、ベビー子供アパレル等の得意先に加え、大手量販企業のPB商品としての企画を進め、販路拡大を計画する。



【ナノテク低温熱処理加工機】

地域資源における関係事業者との連携

- ・富山県ニット工業組合他、業界団体、商工会議所活動等で牽引者的役割を果たすと共に、新素材の設計・開発を産学官連携により実施する等、積極的に地域連携を進めている。

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-045
地域資源名	ニット製品	認定日	平成20年 3月26日
地域	高岡市、射水市、南砺市、小矢部市	所管省庁	経済産業省

事業名：防蚊・防虫・抗菌・消臭・保湿機能を兼ね備えた犬用機能加工衣料の製造・販売

会社名：株式会社 ゼフィール

所在地：富山県小矢部市和沢180-2

連絡先：TEL：0766-67-0702
FAX：0766-67-5132

HP：<http://www.idog.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・当社は平成元年にニット製品の製造下請として創業したが、海外品との競合で受注が激減してきたことから、平成10年よりニット製品製造技術を活かし犬用衣料の開発製造販売に着手し、ネット販売を中心に順調な業績伸長を果たしている。
- ・本製品は、現在2000人を超えるネット販売固定客から、犬の皮膚障害を防止する新規商品の要望が高いことを踏まえて、蚊・ダニ忌避加工を施した犬用衣料を開発、販売。ユーザーからの評判も良く、今後、更なる商品企画を進め拡販を図る。



U.K.ボーダーTシャツ
moscape

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

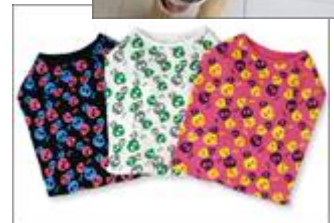
- ・ペット愛好家の犬用の防蚊・防虫・抗菌・消臭・保湿等の機能を有する衣料への要望は極めて高いものの、現時点では競合商品はほとんど無く、かつ、当社のリアルタイムの商品企画、工場直結の供給力の強みから競争力は極めて高い。

◆市場性

- ・近年、大手アパレルを含め業界への新規参入は増加しているものの、ペット関連市場は急速に拡大しており、ペット衣料、関連グッズ等の市場は、今後益々の拡大が予測される。

◆販路

- ・現在、ネット販売と全国ペットショップ200店舗余への卸売りの比率はほぼ6対4であるが、幅広い商品提案力が求められる市場特性からネット販売のシェアが更に高まると思われ、今後、ネット販売サイトの拡充を含め販路の拡大を図る。



ドクロパーティータンク
moscape

地域資源における関係事業者との連携

- ・横編みニットのセーター編み立て、刺繍、プリント等の一部を地域同業者に加工委託するなど生産に係る連携を進めている。
- ・技術開発・製品機能評価等の実施に当たり、県の中小企業支援センターの指導を得て、研究機関等との連携を進めている。

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-046
地域資源名	伝統的工芸品(九谷焼)	認定日	平成20年 3月26日
地域	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、川北町、野々市町	所管省庁	経済産業省

事業名: 高白色度白磁・無鉛和絵具による新たな九谷焼様式の開発と市場の開拓

会社名: 今九谷窯

所在地: 石川県加賀市大聖寺錦町13-37甲

連絡先: TEL: 0761-72-0901

HP: <http://www.imakutanigama.com/>

FAX: 0761-73-3800

事業概要(新たな活用の視点)

- ・石川県は、日本を代表する色絵磁器の一つ、九谷焼の産地である。しかし、グローバル化やライフスタイルの変化等により、出荷額は減少する一方であり、新たな技術開発が求められている。
- ・当社は、石川県九谷焼技術センターが開発した透光性粘土にカオリン等を添加し独自精製することで、高白色度の粘土を開発した。加えて、同技術センターが開発した無鉛和絵具を独自改良することで、貫入(絵具のひび割れ)の無い無鉛和絵具を開発した。
- ・さらに、上記両技術を駆使し、新たな九谷焼様式を創出した。



【 禅九谷様式 】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・九谷焼産地において、「高白色度白磁」と「無鉛無貫入和絵具」を組み合わせて使用しているのは当社のみである。
- ・この「高白色度白磁」と「無鉛無貫入和絵具」は、国内他産地や海外食器メーカー等と競争する上での必須条件であり、さらに日本そして九谷独自の美意識を付加することで競争力を高める。

◆市場性

- ・ライフスタイルの洋風化や鉛害への関心の高まり等により、白色度が高く無鉛和絵具を使用した食器のニーズが国内外で高まっている。
- ・九谷焼は、海外でも特に中国の富裕層に大きな潜在的需要がある。

◆販路

- ・国内市場は、国内大手デパート・専門店等での展開を中心とする。
- ・海外市場は、まずは中国を中心として開拓し、その後、欧米等へも拡充する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・各工程を担当する専門事業者との連携体制を構築している。
- ・「高白色度白磁」や「無鉛和絵具」のベースとなる材料は、地域事業者から調達している。
- ・石川県九谷焼技術センターとは、成分分析や技術改良で連携している。



【 華九谷様式 】

3類型	鈹工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-047
地域資源名	和菓子	認定日	平成20年 3月26日
地域	金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、川北町、野々市町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：独自技術による野菜を活かした創作生和菓子「サラダスイーツ」の商品開発及び販路開拓

会社名：株式会社グラン・コトジ

所在地：石川県金沢市西念1丁目4番8号

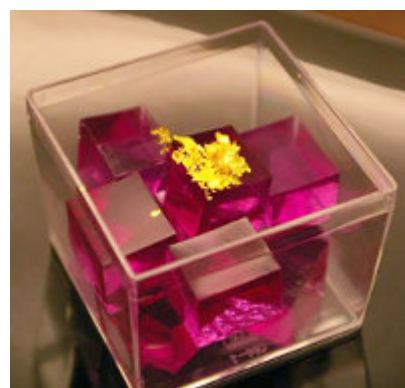
連絡先：TEL：076-232-2428

HP：<http://www.grn.co.jp/>

FAX：076-232-2479

事業概要(新たな活用の視点)

- ・石川県は、愛知、島根県と並ぶ和菓子の産地として知られており、特に金沢は加賀百万石の伝統の中で、各種の生・焼き・干菓子が作られている。
- ・同社は、現代人の健康志向ニーズにマッチした低カロリー和菓子が求められていることから、新鮮な野菜のエキスを抽出する技術を開発し、流し菓子として、加賀・能登野菜等を活用した喉ごしの良い創作生和菓子「サラダスイーツ」の開発に成功。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

【加賀野菜(金時草)を使用したサラダスイーツ】

◆競争力

- ・新鮮な加賀・能登野菜等のエキスを寒天等で固める製法を用いた和菓子を製造する事業者は県内には存在しない。
- ・幾多の試作を繰り返すことで、ゼラチンを商品により適量添加することにより、見栄えと喉ごしの良さを両立する技術を確立した。(特許出願2007-318542号)

◆市場性

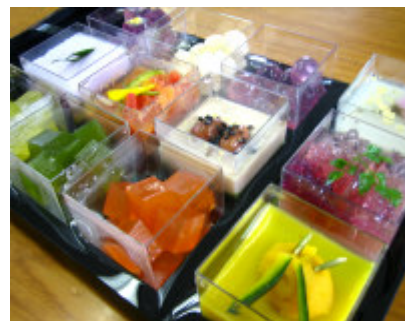
- ・他のスイーツに比べ、無添加、無着色、無調整、無香料で身体に良い低カロリーの創作生和菓子であり、健康志向の人、食品の安全性を気にする人、離乳期の幼児、病気等の見舞向けの菓子としての需要が見込める。特に、健康志向が高い35歳～60歳代の女性がコアターゲットであり、現実にこの年齢層の評価は高い。

◆販路

- ・現在、金沢市内の2店舗で販売しているが、首都圏、近畿圏の百貨店にも出店予定しており、さらに、大手ネット通販の活用も検討。

地域資源における関係事業者との連携

- ・野菜集荷流通業者を介し、契約している地元の野菜農家とも野菜栽培の情報交換等で連携を深めている。
- ・社長は金沢大学の非常勤講師を勤め、「食」の教育等で地域と連携している。また、衛生管理技術を地元食品製造会社等に公開すると共に衛生管理の指導も行なっている。



【創作生和菓子各種】

3類型	鈷工業品	通巻番号	4-19-048
地域資源名	伝統的工芸品(九谷焼)	認定日	平成20年 3月26日
地域	金沢市、小松市、加賀市、白山市 能美市、川北町、野々市町	所管省庁	経済産業省

事業名： 九谷焼と手作り吹き硝子の融合商品「九谷和グラス」の商品開発と販路拡大

会社名：清峰堂株式会社

所在地：石川県能美市新保町ヲ48

連絡先：TEL：0761-57-2133
FAX：0761-57-2135

HP：<http://www.seihou-do.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・九谷焼は日本有数の陶磁器であるが、近年は需要の変化等により、売上はピーク時の3割にまで落ち込んでいる。
- ・同社は、「和洋テイストを自然につなぐ(調和する)うつわ」を商品コンセプトと定め、磁器とガラスを接合する技術を7年の歳月を経て開発することで、九谷焼技術を駆使した脚部と手作り吹きガラスの江戸硝子を組み合わせた「九谷和グラス」の開発に成功。
- ・平成18年にはグッドデザイン賞(新領域デザイン部門)を受賞。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・磁器とガラスを接合させた商品は、全国的には2~3点見られるものの、接合強度・商品ラインナップ数で優位性がある。

◆市場性

- ・「食」が「文化」のひとつであるという認識の広がりから、女性を中心として食器への本物志向が高まり、脚付きグラスの単価上昇や販売量が増加していることから、本商品へのニーズは高い。

◆販路

- ・展示会に出展することで、現在の販路であるチョイスギフトへの売上を確実に伸ばすとともに、都市部百貨店での定番商品化を図る。
- ・市場調査を通して、消費者ニーズを商品開発に活かすとともに、3年目より海外での販売を計画している。



【売価5千円クラスの商品】



【売価1万5千円クラスの商品】



【売価5万円クラスの商品】

地域資源における関係事業者との連携

- ・九谷焼産地問屋各社と連携して九谷焼脚部の生産と絵付けを行っており、産地問屋6社で構成する「工房九谷」とは共同で脚部の商品開発や様々な九谷焼商品のPRを行っている。また、地元ガラス作家との連携も行っている。
- ・石川県九谷焼技術研修所とはデザイン開発で、石川県九谷焼技術センターとは、素材や絵の具、製品強度等技術面で連携している。